

第73回全国植樹祭岩手県準備委員会（第3回）の概要について

- 日時：平成31年2月12日（火）10:00～11:30
- 場所：サンセール盛岡1階「エメラルドホール」
- 出席者：17名（18団体）
- 議事内容
 - 1 報告

第73回全国植樹祭岩手県準備委員会（第2回）の概要について
事務局から概要を説明
 - 2 協議
 - (1) 基本構想（素案）について
事務局から、基本構想（素案）を説明
 - (2) 基本構想に係る開催規模について（案）
事務局から、開催規模案を説明
 - (3) 開催候補地の選定について
 - ア 選定に係る基本条件について（案）
事務局から、選定に係る基本条件を説明
 - イ 選定に係る進め方について（案）
事務局から、選定に係る進め方を説明
 - (4) その他
なし
 - 3 基本構想（素案）に係る主な意見等
 - (1) 全体のトーンの中身が森林・林業と一次産業という言葉が出て、ここに閉じ込められている。一次産業に閉じ込めない方が良い。これからの産業部分への寄与の部分を意識して書くと良い。
 - (2) エネルギーとしての森の役割があっても良い。木炭や薪の文化だったり、水も最大でそこから出るエネルギー、両方がマッチしていかなければ成り立たない。新たな森の考え方を出示しても良い。
 - (3) 景観を更にプラスしたい。全国民が共有する財産でそこを意識して山を作っていくことは大事。岩手らしさを具体的に示せるのが景観である。
 - (4) 「県、市町村、林業関係団体及び森林所有者等が連携して森林づくりを進めています。」の表現が、まだ、これを進めていかなければならないという状況ではないか。これが、最大の課題となっているので、「います。」の表現に違和感がある。

- (5) ナンブアカマツの特徴で、ヤニが少なくの表現に内心ひっかかるものがあり、表現を検討されたら如何か。
- (6) ナンブアカマツは学名に近い樹種を充てる場合に、カタカナでも良いと思うが、象徴として使う場合に漢字の方がアピール性がある。
- (7) 森林サービス産業のような、大きな森林関連のサービス産業の全体についても、観光、環境や健康につながること。森林が持っている機能だったり、意味だったりする大きな視点についても触れられても良いのではないか。
- (8) 森林は存在するだけで美しい。それを豊かさとか恵とかの表現されるもの。森林そのものが人間に色々利益をもたらすが、それ以前に存在が美しいのだと、このことを匂わせてもらえるような記述があれば良い。